

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス カファー 及び カファーネクスト		年 月 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	0	ホワイトボードでのスケジュールの掲示や、タイマー、チャイム、写真、イラストを用いた情報提示を行っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0	事業所内外、送迎車両等、毎日清掃業務を行い安全かつ清潔な環境づくりに努めている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	3	月例会議にて業務内容の確認と改善点がないか定期的に振り返りを行っている。	目標設定を細かく設定し直す必要がある。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	2	保護者向け評価表の実施を行っている。また、LINEを用いて、保護者と連絡が取りやすくなるよう努めている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1	月例会議にて業務内容の確認と改善点がないか定期的に振り返りを行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	13		今後、第三者による外部評価を検討する。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	2	定期的実施している。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	1	支援プログラムを作成し公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	0	保護者に対するモニタリングを行いニーズや課題の確認、職員での会議を行った後に個別に支援計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	支援計画を職員と共有している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	支援計画を職員と共有し、支援を行っている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	7	アセスメントシートを用いて行っている。	今後は、定期的な見直しを行う。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	2	各目的を踏まえた計画を作成するよう努めている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0	朝礼や職員会議を通じて、活動プログラムを立案しています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	4	固定しないよう努めているが、季節や時期によっては固定されやすいこともある。	固定化されないよう、職員会議等で活動風呂グラムの見直しと行う。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	1	個別、集団の両方の活動を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0	毎日、朝礼にて当日の支援について確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	13	0	当日に連絡が必要な事項については職員のグループLINEにて共有している。翌日の朝礼にて振り返り等を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	毎日、利用者毎に記録し、改善が必要な事項に関しては職員会議等で話し合い改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	最低でも6ヶ月に一回を目安とし、定期的実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	10	3	偏りが無いよう努めている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	1	利用者の希望に沿う活動の提供ができるよう努めている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	1	児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	5	必要に応じて情報共有を行っている。	確立された連携体制がない為、必要に応じ体制の構築に努める。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	5	送迎時や必要に応じ担当者会議等での情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	2	担当者会議を通じ、情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	11	現在まで事例がない為、行っていない。事例が発生した際には情報共有に努める。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	10	地域の児童発達支援センターとの連携はできていない。他地域の福祉従事者による研修等を行っている。	今後は地域の児童発達支援センターとの連携も行っていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	13	現在は行っていない。	今後、イベント等を通じた交流を検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	11	あまりできていない。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	1	送迎時の申し送りや連絡ノート等にて共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	5	支援の助言お行うことはあるが、研修の提供は行っていない。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	3	契約前に見学を行い、契約時までに重要事項説明書やパンフレット等を用いて説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0	モニタリングなどで保護者の意思を確認し作成している。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13	0	支援計画を提示し説明、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	2	相談があった際には適切に対応できるよう努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	13	父母の会や保護者会の開催はできていない。	今後、開催できるよう努める。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	2	苦情について、迅速に対応できるよう努めている。また、対策等について資料を作成する等して説明している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	2	SNSやHPを更新し、情報発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	10	今年度は行事に地域住民を招待することはできていない。	地域住民が参加できる行事の開催を検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0	実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0	実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	0	確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0	確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0	確認している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	9		周知できるよう、公式LINE等を用いて情報発信していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	実施している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	講師を招いての研修を行う等し、虐待防止に努めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	5	身体拘束の事例はない。	身体拘束の事例はないが、必要な場合には計画に記載し説明する。	